


【件名】	永代橋長寿命化工事（道路照明改修）	【事務所名】	第一建設事務所	
【工事場所】	東京都中央区新川一丁目地内から江東区永代一丁目地内まで	【受注者名】	丸電・三盛建設共同企業体	
【工期】	平成29年2月27日から平成30年2月26日まで	【主たる技術者名】	佐々木 剛、飯ヶ谷 昌弘、原 龍夫	

【工事概要】

永代橋は平成19年に重要文化財に指定されている。国指定重要文化財橋梁の長寿命化検討委員会において竣工当時の道路照明への復元が決定されたことを受け、本工事において道路照明36基の製作、取替えを行ったものである。

【表彰理由】（※発注者側評価）

狭隘なアーチ内部での丁寧な施工や現場に応じた材料の提案など、高い技術力が発揮されていた。工事期間を通じて維持管理上への配慮や、既設構造物との取り合い、見え方にまでこだわり、より良いものを作ろうとする熱意が感じられた。施工の品質、形状が適切で良好な施工であり、全体的に調和がとれた仕上がりであった。



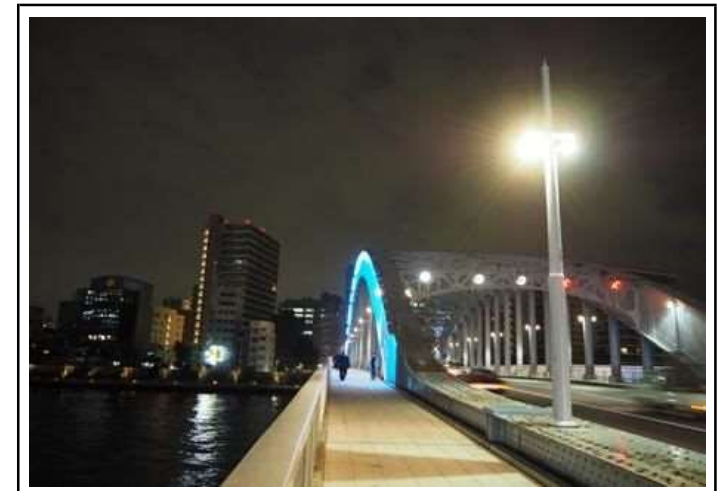
施工前



施工後

【受注者の声】

- ◇ 苦労した点
工事期間中、橋上は日々大掛かりな交通規制を実施、また橋下は水面から近い箇所に吊足場を4箇所設置したため、歩行者・車両・船舶への安全管理には特に苦労しました。
- ◇ 特に工夫した点
橋梁上は振動する場所のため、機器据付用ボルトの緩みが発生しないよう緩み止めワッシャーやイダリングを使用するなど緩み止め対策には特に工夫を行いました。
- ◇ 現場で得られたやりがいや達成感
重要文化財は原則新たな穴あけや溶接が出来ません。機器は全て既存のボルト穴や角度・勾配に合わせ製作しました。全て据付が完了した際は非常に安心感・達成感を感じました。
- ◇ 建設業の将来を担う若手技術者や学生に対し伝えたいこと
今回の工事は永代橋建造時の照明の姿に復元する工事ですが、昔の姿を知っている近隣の方が現場を見て感動したと仰っていました。工事は時に人を感動させる力があるのだと思います。



道路照明夜間点灯状況